

東京都江戸東京博物館
江戸東京たてもの園
附帯施設（ミュージアムショップ）
運営事業者 募集要項

令和6年12月3日

公益財団法人東京都歴史文化財団
東京都江戸東京博物館

1 募集目的

東京都江戸東京博物館（以下、江戸博という。）は、令和4年4月1日から大規模改修工事のため休館しており、令和7年度中のリニューアルオープンを予定しております。

これを機に、東京を訪れる観光客が必ず訪れたいと思える江戸東京の「アイコン」となる存在を目指し、更なる魅力の向上を図ります。このため、閉館後も楽しめる仕掛けや、これまで以上に展示を楽しめる様々な工夫を検討しています。リニューアルオープンに際しては、ご来館いただいたお客様が展覧会や催し物だけでなく、館内の附属施設をとおして、体験価値（※）の提供を通じ、有意義で楽しく、充実した時間を過ごしていただくことを目指します。

また、江戸博の分館として開設された江戸東京たてもの園（以下、たてもの園という。）においても、分館にご来園いただいたお客様にご利用いただける附属施設を設置しており、展示や催し物だけでなく、楽しみ、くつろいでいただける空間づくりを目指しています。

本館分館ともに、年間を通じて、国内外を問わず訪れる、多様な数多くのお客様をおもてなしする附属施設としてミュージアムショップ各1店舗（分館はカフェ併設）を設置し、この2店舗を一括して運営していただく事業者を募集いたします。また、店舗の運営と共にECサイトの運営も含まれます。

※ 来館者や来館予定者が、情報提供、展覧会、催し物、附属施設でのサービスなど、当館が提供するすべての体験の中で感じる価値のことを言います。

2 東京都江戸東京博物館の概要等

（1）概要

江戸博は、江戸東京の歴史と文化を振り返り、未来の都市と生活を考える場として平成5年（1993年）3月28日開館いたしました。菊竹清訓の設計によるユニークな建物で、開館以来、東京を代表する文化施設として、国内外から多くのお客様にご来館いただいております。

常設展は、徳川家康が江戸に入府してから約400年間を中心に、江戸東京の歴史と文化を実物資料や復元模型等を用いて紹介しています。さらに、1階展示室では、年5～6回開催される特別展に加えて、1階の大小ホールでは伝統芸能等の公演、江戸東京の歴史・文化等に関する講座や体験教室など様々な活動を展開しております。

たてもの園は、平成5年（1993年）江戸博の分館として、敷地面積約7ヘクタールを擁する広大な土地に開園いたしました。現地保存が不可能な文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示するとともに、貴重な文化遺産として次代に継承することを目指しています。

(2) 入場者数・ミュージアムショップ等利用者数

江戸博のお客様は、幼児から高齢の方まで幅広い層であるとともに、インバウンドが急増していることから、海外からの多くの来館者が見込まれます。休館前の中心客層は、ミドル・シニア層ですが、今後は訪日外国人旅行者や若年・青年層のお客様を増やしていく必要があると考えています。ミュージアムショップを訪れるお客様は、主に江戸博に来館されるお客様とホール・会議室等の貸出施設をご利用される方となります。

また、たてもの園は、近隣からのファミリー層や建築に興味のある方の来園が多く、大学生から60代前半の成人がおおよそ7割程度を占めています。

江戸東京博物館（本館）

単位＝％

参考:平成28年度	男女比	10-20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
男性	43.6	13.2	9.1	20.5	20.5	16.8	19.9
女性	56.4	14.4	16.8	22.8	18.9	16.8	10.3

	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
特別展	休室	293,219人	165,012人	339,620人	休館	休館
常設展等	908,868人	839,133人	210,997人	80,624人		
入館者計	908,868人	1,132,352人	376,009人	420,244人		
開館日数	317日	289日	257日	277日		
ショップ利用者数	127,019人	123,834人	24,848人	32,511人		
ECサイト利用者数	48人	58人	66人	167人	72人	65人

江戸東京たてもの園（分館）

単位＝％

H30-R5平均	男女比	10-20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
男性	44.6	18.7	15.8	18.8	22.0	16.8	7.9
女性	55.4	25.3	14.6	17.8	22.8	12.1	7.4

	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
入園者計	256,202人	229,663人	100,771人	116,052人	214,083人	230,978人
開館日数	313日	281日	180日	200日	311日	312日
ショップ利用者数	24,518人	22,814人	9,568人	12,127人	24,311人	27,915人
カフェ販売点数	7,674点	8,849点	3,060点	4,475点	8,898点	9,332点

※ 新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館に伴う附帯施設休業期間】

平成31年度：2月29日から3月31日まで

令和2年度：4月1日から5月31日まで及び1月13日から29日まで

令和3年度：4月25日から5月31日まで及び 令和4年1月12日から3月21日まで

※ リニューアルオープン後の状況は、平成31年度まで5階ショップが営業していたこと（江戸博のみ）、令和2、3年度の入館者数及びショップの利用者は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けていたことを踏まえる必要があります。

3 募集店舗の概要

(1) 営業場所、設備

① 江戸博ミュージアムショップ（本館1階）

総面積 98.50 m²（予定）

その他面積 20.00 m²（事務所兼倉庫等）

② たてもの園ミュージアムショップ（ビジターセンター1階）

総面積 129.163 m²（カフェ利用も含む）

(2) 店舗施設の特徴

① 江戸博ミュージアムショップ（本館1階）

・施設平面図（別紙1）、天井伏図（別紙2）に基づき、江戸博にて令和6年度中に基本施工します。

・ディスプレイ等の必要什器は、什器備品一覧（別紙3）に基づき、運営事業者の企画提案、意見、要望等と調整したうえで、江戸博において購入および設置施工します。

・上記以外の内装装飾や什器・設備で運営に必要とお考えのもの（棚類やレジ、パソコン等備品、消耗品等は据付けおよび電源配線等の接続を含む）については、運営事業者の施工および負担となります。その際は江戸博と調整の上対応してください。

・1階は、メインエントランスから続く広く明るい空間であり、ミュージアムショップまで高い格子天井が続きます。壁面は小叩き仕上げの美しい内装となっており、ぬくもりのある落ち着いた雰囲気構成されているため、この環境に適した店舗としてください。

・開かれたフロアに位置し、ショップの営業終了後も周辺通路を大小ホール・会議室等の利用者が通過する場合がありますので、盗難等の危険がないよう、対策を施した内装構成としてください。

・5階（常設展示室フロア）にショップで取扱う商品の紹介（販売は当面の間予定なし）が可能となるスペースが設置される場合があります（令和7年度工事による）。これに係わる棚什器は、江戸博において設置等対応しますが、展示替えなど実際の運用については江戸博と協議の上対応してください。

②たてもの園ミュージアムショップ（ビジターセンター1階）

- ・施設平面図（別紙4）と什器備品等一覧（別紙5）のとおりです。
- ・残置備品から新たな備品類に入れ替える場合や、上記以外の内装装飾や什器・設備で運営に必要とお考えのもの（棚類やレジ、パソコン等備品、消耗品等は据付けおよび電源配線等の接続を含む）については、運営事業者の施工および負担となります。その際は江戸博と調整の上対応してください。
- ・たてもの園ミュージアムショップは、歴史的建造物である旧光華殿をビジターセンターの中にあります。床面はフローリングとなっており、店舗での施工内容には制限があります。また、カフェスペースは、江戸東京たてもの園への来園者のほか、小金井公園を散策する方の休憩スペースになっています。

4 店舗等運営の条件

(1) 営業条件

営業準備および営業開始予定

① 江戸博ミュージアムショップ（本館1階）

営業準備～	令和7年2月以降
什器設置工事（予定）	令和7年6月から12月頃まで
建物内使用開始時期（予定）	令和7年12月頃（工事終了後）
営業開始（予定）	令和7年度中（予定：リニューアルオープン日より）

② たてもの園ミュージアムショップ（ビジターセンター1階）

営業準備～	令和7年2月から令和8年3月まで
内装改修工事（予定）	令和8年4月以降 ※必要な場合のみ
建物内使用開始時期（予定）	令和8年4月から
営業開始（予定）	令和8年4月以降（工事終了後）

③ ECサイト（江戸博およびたてもの園）

営業準備～	令和7年2月以降
サイト構築（予定）	令和7年度中（予定：リニューアルオープン前日まで）
営業開始（予定）	令和7年度中（予定：リニューアルオープン日より）

(2) 基本的な営業時間等

① 江戸博ミュージアムショップ（本館1階）

- ・江戸博の開館日及び開館時間（原則毎週月曜日及び年末年始が閉館日、開館時間は午前9時30分から午後5時30分まで。但し土曜日は午後7時30分まで）中は営業していただく

きますが、状況に応じて夜間までの営業も可能です。

- ・夏季の一定期間（※）における金曜日や、特別なイベントの開催時などには、江戸博として夜間開館日を設けており、午後9時まで開館時間の延長も行っているため、これに対応してください。夜間開館日については、江戸博があらためて指定し、当該日における店舗の営業体制については、江戸博と協議の上対応してください。
- ・午後9時を上限として、お客様に閉館後にも夜間の時間を楽しんでいただく際には、江戸博の敷地を一般に開放するため、これに対応してください。これの実施日および営業体制については、事前に江戸博と協議の上対応してください。
- ・特別展主催者、関係団体等より、開館時間外にミュージアムショップ営業の要望がある場合、もしくは江戸博から依頼する場合には、対応をお願いします。
- ・休館日は、原則として毎週月曜日及び年末年始（12月28日～1月4日）ですが、江戸博との事前協議により休館日の営業も可能です（江戸博から依頼する場合があります）。
- ・ミュージアムショップは常設展及び特別展等のチケットをお持ちでない一般の方もご利用いただけます。
- ・時間外や休館日の営業に際しての駐車場の利用、警備、外構照明等については、円滑な営業が可能となるよう、江戸博と調整します。

※ 参考：平成29年度 サマーナイトミュージアム開催期間

平成29年7月21日～8月25日の毎週金曜日 午後9時まで

実施日 7月21日、28日、8月4日、11日、18日、25日 計6日間

② たてもの園ミュージアムショップ（ビジターセンター1階）

たてもの園の開館日及び開館時間中は営業していただきますが、それ以外の対応が生じる場合については、都度協議の上対応してください。

③ ECサイト（江戸博およびたてもの園）

原則、商品購入は24時間対応としますが、注文確認等は上記①同様、店頭での営業時間と同じ時間帯の対応で問題ありません。それ以外の対応が生じる場合については、都度協議の上対応してください。

（3）店舗の業種・業態

① 江戸博ミュージアムショップ（本館1階）

- ・業種・業態に関する条件は特にありませんが、共有部と同様に、温かみがあり、居心地の良い環境となるデザインを想定しており、ロケーションや江戸博ならではの体験価値を提供する場としてのバランス等を考慮してください。
- ・エントランスに位置する店舗付近は常時人の回遊があり、混雑することも多々予想されるため、オペレーションの工夫を図るなどして、できるだけお客様をお待たせしない、長蛇の列ができないよう営業の工夫をしてください。

② たてもの園ミュージアムショップ（ビジターセンター1階）

- ・原則、上記（3）①と同様の対応とします。
- ・カフェを併用したミュージアムショップという点を活かし、野外収蔵建造物や歴史的景観にふさわしい雰囲気考慮した店舗を目指してください。

③ ECサイト（江戸博およびたてもの園）

- ・構築方法は定めませんが、当館の特性を生かしたサイトデザインであり、PCおよびスマートフォンでも見やすいサイト構成となるよう工夫してください。
- ・独立行政法人情報処理推進機構（IPA）による「ECサイト構築・運用セキュリティガイドライン」のとおりセキュリティ対策を遵守したサイト運営を行ってください。
- ・展開する商品は、原則店頭にある商品と同様とします。

（4）広報展開

江戸博の広報ツールと連携するなど、店舗や商品等について積極的にウェブサイトやSNSを活用して広報展開をしてください。

（5）多言語化対応

外国人のお客様向けとして多言語による接客が可能となるよう、スタッフの配置、多言語対応機器の活用や、商品名表示、店舗のウェブサイト等の多言語化などに積極的に対応してください。

（6）その他

- ・クレジットカード、デビットカード、電子マネー及びQRコード決済などインバウンドによる支払いにも対応できるよう、事業者の負担で機器の設置等を行ってください。
- ・東京都歴史文化財団内各館の友の会、年間パスポート等の割引に対応してください。
- ・江戸博およびたてもの園の運営における安全管理上必要な対応（防災訓練、テロ対策訓練等）に参加協力してください。
- ・商品等に係わる車両は、江戸博およびたてもの園指定の場所において、搬入時間に限り停車できます。搬入用の車両等は2トン車程度までとします。従業員用の駐車場はありません。

5 契約条件

本運営事業者募集要項に基づき決定した事業者（以下「受託者」という。）当館（江戸博とたてもの園を合わせた場合をいう。）との間で、附帯施設業務委託契約（以下「委託契約」という。）を締結します。

(1) 契約期間

本件は、令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年とします。

ただし当館が令和9年度以降の東京都江戸東京博物館指定管理者に選定され、かつ委託契約に基づく履行状況が良好であれば、令和9年4月1日から3年間を限度として契約期間を延長することが可能です。

営業開始日は、江戸博はリニューアルオープン日に準じます(令和7年度中予定)。たてもの園においては、令和8年度から営業開始となります。なお、令和6年度(令和7年3月1日から3月31日まで)は、覚書を以て基本合意とします。

(2) 準備期間

契約締結日の日から営業開始の前日までを営業準備期間とします。準備期間中の管理手数料は不要ですが、万が一準備期間中に契約を破棄する場合は、違約金が発生します。

営業開始までの期間における具体的なスケジュールや詳細は、当館と協議し、協議内容を記載した書面等を作成の上、対応していただきます。

(3) 販売品目及び売上の取扱い

- ・受託者が販売する全ての商品及びその価格については、江戸博およびたてもの園の承認を得てください。
- ・日々の売上金は、受託者の責任において管理してください。
- ・江戸博およびたてもの園に対して、日々の売上額及び月ごとの総売上額を所定の期日までに別途定める様式にて報告してください。

(4) 管理手数料等

① 管理手数料

	一般商品	書籍・食品	酒類	カフェ
江戸博	20%	6%	3%	—
たてもの園	10%	6%	3%	3%

毎月売上額(税別)に、上記表のと通りの割合を乗じて得た金額(1円未満は切り捨て)の合計とします。ただし、月額管理手数料が以下の最低保証金に満たない場合は、最低保証金額とします。なお、当館都合により営業日が減少した場合や、著しい賃金及び物価高騰並びにパンデミック等による社会活動の抑制等、国内の社会経済状況において急激な変動が起きた場合には、最低保証金の取り扱いについて、当館と協議の上あらためて決定いたします。

・江戸博とたてもの園の合計

毎月売上額(税別)に上記表の割合を乗じて得た額(1円未満は切り捨て)の合計が、最低保証金928,000円(消費税別)に満たない場合は、この最低保証金をお支払いください。

※上記の歩合(売上額の10%)は最低限の基準であり、これを越えた歩合の提案も可とします。

提案に際しては、歩合とそれに基づく収支等の考え方を提案してください。

② 納付時期及び方法

月締めの営業に係る管理手数料に消費税相当額を加えた金額を、翌月末日（末日が土日・祝休日の場合は次の平日）までに当館の指定する口座に振り込むこととし、振込手数料は受託者の負担とします。

③ 営業保証金

当館の指定する期間内に、次の金額を営業保証金として預託してください（営業保証金は契約期間終了の際にお返ししますが、無利息とします。）。

- ・ 江戸博とたてもの園の合計 金 2, 784, 000円

(5) 施設・設備等

① 建築・設備改修・補修等の負担区分

当館の負担で整備した建築・設備・什器等の改修・補修が必要な場合は、基本的に当館が行います。但し、受託者の瑕疵による破損・故障の場合については、当館と協議の上、修繕や更新に必要な費用を受託者の負担とする場合があります。

当館の負担で整備した建築・設備等の追加整備、什器等の追加設置が必要な場合は、当館の承認に基づき、受託者の負担において行ってください。また、その場合に各種法令手続き及び公的機関との調整等が生じる場合は、受託者の責任及び負担で行ってください。

② 光熱水費等の負担区分

・ 光熱水費、清掃費（ごみ置場及び使用する全ての部屋の清掃を含む）、汚泥処理費、廃棄物処理費、殺虫殺鼠剤、消耗品費、小修繕費、インターネット回線、電話回線などの通信費等については受託者の負担とします。光熱水費については、当館の指定する方法により、期限までに納付していただきます。

・ 江戸博およびたてもの園敷地内の外構における日常的な清掃、樹木・植栽等の散水や維持管理は基本的に当館が行います。ただし、ミュージアムショップ内およびカフェの食材などの搬入等の営業活動で使用した部分の清掃は、受託者で行ってください。一般のゴミの搬出、処理については、江戸博およびたてもの園が指定した方法で行いますが、係る費用については受託者の負担とします。江戸博もしくはたてもの園で一括契約等している場合においては、江戸博もしくはたてもの園の指定する方法により期限までに納付してください。

③ 衛生管理

・ 受託者は、本物件内（バックヤード等も含む）及びその周囲を常に清潔に保ち、飲食物の安全と衛生の確保に万全を期すとともに、委託業務の遂行上必要とされる従業員の健康診断、衛生検査等を適切に実施して、その結果を当館に報告してください。

④ Wi-Fi環境の整備

- ・お客様用のフリーWi-Fiサービスについては、ミュージアムショップ近くに東京都公式フリーWi-Fi「TOKYO FREE Wi-Fi」が設置されます。店内でご利用できることを店内外で表示するとともに、店舗のHP等周知に協力してください。
- ・その他のWi-Fiを設置する場合は、江戸博もしくはたてもの園と協議の上、受託者の負担において行ってください。

⑤ 危機管理について

- ・営業区画内における店舗内部については、災害、事故、盗難その他不測の事態発生による一切の危機に備えるための損害保険に受託者の負担により加入してください。また、受託者は、災害、事故、盗難や食中毒・感染症の発生、トラブルの発生等の対応についての危機管理マニュアルを作成し、江戸博の承認を得てください。

⑥ その他

- ・申込日から遡って、過去3年間の営業販売に関し、所管行政庁から食品衛生法又は食品製造等取締条例の規定に基づき、営業許可の取消し、営業禁止又は営業の停止の行政処分を受けた者は応募できません。
- ・受託者は、自らの名義と責任をもって委託業務遂行上に係る一切の取引を行ってください。
- ・当館は、委託契約の範囲内であっても、受託者の業務に関して第三者との間に生じる債権債務については一切責任を負いません。
- ・受託者は、委託契約に基づく一切の権利を譲渡、転貸、その他担保の用に供することはできません。
- ・次の各号に該当するときには、契約を取り消し、又は変更することがあります。
 - ア 天変地異等により営業場所が使用不能になったとき
 - イ 受託者が契約条件に違反したとき
 - ウ 受託者が応募者の資格を失ったとき
 - エ 東京都が東京都歴史文化財団との指定管理者の指定を取り消す等の場合
- ・契約満了のときは、満了日までに、受託者の負担により整備を行った部分について、受託者の負担で本物件を原状回復して江戸博に引き渡してください。ただし、本契約の満了前に契約を解除する場合は、解除の日から2週間以内に、受託者の負担で本物件を原状回復して当館に引き渡してください。その場合、図面と現況が異なる場合は、現況優先とします。
- ・受託者は、業務の履行にあたって、あらゆる感染症の感染拡大防止に努めてください。
- ・受託者は各種法令に基づき、適切にミュージアムショップ等の維持管理を行ってください。
- ・暴力団又はその他暴力的集団の構成員は応募できません。

6 企画書作成

応募者は、以下のことに留意して企画書を作成してください。

企画書では、「3 募集店舗の概要」および「4 店舗運営の条件」に記載されている内容を事業者が的確に理解していることを提示してください。

(1) 店舗運営の方向性

① 基本的な考え方

当館のミュージアムショップは、単なる附帯施設ではなく、当館を訪れたお客様に、展示・公演等のサービスと一体となり、体験価値を提供することを第一とし、江戸博(本館)では、江戸の魅力を発信し歴史を肌で感じそこから得た感動を、たてもの園(分館)では、四季の風景や、たてもの園内の歴史的建造物と昔の暮らしの再現を肌で感じた感動を、ミュージアムグッズとともにお客様にお持ち帰りいただき、来館による満足度を一層増進することにより、当館の魅力をさらに高めるとともに、来館者の手元において再来館を喚起するための重要な要素と位置づけます。本件受託者には、これらの考えと江戸博およびたてもの園の特徴を活かし、「東京都江戸東京博物館 管理運営の基本方針」に則りながら、店舗の企画・運営を行っていただきます。受託者としてどのように貢献していただけるか、そのための創意工夫など、各店舗運営の基本的な考え方をそれぞれに提示してください。

② コンセプト、メッセージ性、独自性

- ・江戸博およびたてもの園の目指す方向を踏まえ、受託者としてこれにふさわしいミュージアムショップ運営の基本コンセプト、メッセージを提示してください。
- ・両国および小金井周辺(商勢圏と想定される範囲内)の状況を踏まえ、その差異を考慮し、独自性を打ち出して提案してください。
- ・江戸博とたてもの園の2店舗の運営による、それぞれの店舗の方向性と2店舗を一体運営するメリットをどのように捉えているかについて提示してください。
- ・上記を踏まえた内装のデザインコンセプトについてそれぞれ提案してください。

③ ニーズの反映、新たなニーズの創出

- ・江戸博およびたてもの園の利用者層を理解し、利用者のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、商品開発、営業時間や広報展開等の工夫により、従来とは異なる新しいニーズを創出し、収益の確保や新たな需要の開拓にも繋がる提案をしてください。
- ・インターネット等を活用し、展覧会図録やオリジナル商品、その他の商品の通信販売を積極的に行ってください。
- ・来館者だけではなく、周辺地域在住・在勤・在学など、来館者以外の方がミュージアムショップ(カフェ含む)を利用するための方法を積極的に提案してください。
- ・上記に基づく目標利用者数についても提案してください。

④ ホスピタリティの維持向上

- ・常に質の高いサービス、ホスピタリティが発揮できるよう、店舗に対する要望や意見を把握し、利用者に対してきめ細かく柔軟な対応に努める必要があります。これらの考え方について提示してください。
- ・合理的配慮を踏まえ、外国人来館者への言語対応、車椅子等お客様の多様なニーズに対してきめ細かく柔軟な対応に努め、質の高いサービス・ホスピタリティを確保するための方策について提案してください。
- ・上記に関する従業員教育の内容を提示してください。

⑤ 商品開発

江戸博およびたてもの園ならではのオリジナル商品を積極的に開発し、オリジナル商品のラインナップ充実を図ってください。各コンセプトを踏まえた独自性ある商品展開を想定しており、当館の雰囲気にもふさわしい、魅力的な商品について、以下のとおり提案してください。なお、各館独自のオリジナル商品は双方の店舗で展開することが可能です。

(江戸博)

- ・江戸博の収蔵品コレクションを活かし、江戸東京400年の歴史を迫体験できるような教育普及効果の高い商品や江戸東京の文化の魅力を肌で感じられるオリジナル商品の企画開発
- ・地元地域（墨田区）を中心とした伝統工芸のラインナップや特産品の販売や、素材や製品を活用し、独自性を打ち出したオリジナル商品の企画開発
- ・レストラン・カフェ附帯施設（別運営事業者）と連携したメニューにある一部食品類（地元特産品等）の販売展開

(たてもの園)

- ・収蔵している復元建造物や園内風景を活かしたオリジナル商品の企画開発
- ・時代と共に育んだ物や形の「なつかしさ」や「美しさ」を現代に表した商品の企画開発
- ・建築に係わる幅広い書籍の展開
- ・地元地域（小金井市）を中心とした特産品の取扱いや、素材や製品を活用し独自性を打ち出したオリジナル商品の提案
- ・カフェと連携したメニューにある一部食品類（地元特産品等）の販売展開

(江戸博・たてもの園共通)

- ・各館オリジナルのマスコットキャラクターを活用した商品の企画開発
- ・幅広い年齢層及び外国人の方など多様な価値観を持った来館者が満足できる商品の提案
- ・低価格から高価格まで様々な需要を考慮した商品展開
- ・環境に配慮した商品（素材等）の提案
- ・上記以外の提案者独自の商品の提案

⑥ 館事業との連携、協力

東京都や歴史文化財団が実施する公募企画や江戸の歴史と文化の魅力発信の取組等に協

力してください。江戸博の常設展、たてもの園の復元建造物、当館の展覧会（特別展、企画展）や公演事業と連動した商品ラインナップや、当館事業との連携協力について考え方を提案してください（広報展開含む）。

（２）基本収支計画

- ① 店舗運営条件を考慮し、適切な収支計画を提案してください。
- ② 従業員の人員配置計画を提案してください。
- ③ 管理手数料の率、及び月平均想定額を提示してください。

※ 応募時の提案内容に関わらず、営業日、営業時間、商品展開、レイアウト、改修等は、応募時の企画書を基に江戸博と協議のうえ、その合意内容を踏まえて実施することになります。必ずしも企画書通りに実現できるものではないことをご承知おきください。

7 スケジュール（応募届、現地見学会参加届の提出等）

（１）現地見学会

参加希望者は、令和6年12月19日（木）までに、別紙6「現地見学会参加届」をEメール宛て提出してください。参加届を提出した方を対象とした現地見学会を令和7年1月7日（火）から10日（金）までの間に実施予定です。江戸博とたてもの園どちらも希望される場合は、それぞれ別日程となる予定です。参加者には、別途集合時刻等を通知します。現地見学会は1団体1時間以内を予定しておりますが、参加団体数に応じて短縮される場合があります。

（２）質問の受付及び回答

① 質問受付期間

質問は、令和7年1月15日（水）までに、Eメール（難しい場合はFAX）で受け付けますが、令和7年1月16日（木）以降の間合せは一切受け付けません。なお、電話での質問は常時受け付けられません。

② 質問様式（任意）

質問は、項目ごとに簡潔明瞭に記述し、一覧にまとめて作成してください。

③ 回答

質問事項を集約したものを応募者全員に、令和7年1月22日（水）までに、ご連絡いただいた宛先へEメールで回答送付します。

（３）参加届および企画提案時提出書類

応募を希望する場合は、令和7年1月31日（金）（当日必着）までに、別紙7「事業者参

加届」を郵送又はEメール添付で提出してください。「事業者参加届」未提出の場合は無効とみなします。

応募者は、令和7年2月7日（金）（当日必着）までに、次の書類を郵送にて提出してください。以下①～⑥は1部（社名有り）、⑦のみ10部とし、そのうち8部は社名無し、2部は社名有りをお願いいたします。

- ① 会社登記簿謄本
- ② 納税証明書（法人住民税・事業税及び法人税につき直近3事業年度分）
- ③ 貸借対照表及び損益計算書（直近3事業年度分）
- ④ 会社の概要及び特徴
- ⑤ 経歴書
- ⑥ 営業所一覧表
- ⑦ 企画書（形式自由。但し、下記項目は必ず記載の上、サイズはA4で統一すること。）

【企画書の基本構成】※記載の順番は適宜変更いただいて問題ありません。

1 提案者の概況

- (1) 経営理念と主な実績
- (2) 店舗のコンセプトとセールスポイント
 - ① 店舗運営、事業展開の基本方針、考え方
 - ② 他の施設のミュージアムショップとの差異、セールスポイント

2 2店舗運営の方向性（江戸博、たてもの園それぞれに）

- (1) 店舗運営の基本的な考え方
- (2) 基本コンセプト、メッセージ、周辺市場の状況を踏まえた独自性
- (3) 2店舗を一体運営するメリット
- (4) 内装のデザインコンセプト（店舗のイメージ図、スケッチ又はこれにかわるもの）
- (5) ミュージアムショップ別の利用対象者（ターゲット）
- (6) (5) のニーズに沿ったサービス、商品展開、営業時間や広報展開等の考え方
- (7) ECサイトの運営
- (8) 目標利用者数
- (9) ホスピタリティの維持向上の考え方と方策、従業員教育の内容
- (10) 商品開発（オリジナル商品の独自性、企画内容など具体的に各館それぞれに提案すること）及び価格表（カフェのメニュー等企画内容も含む）
- (11) 営業時間
- (12) 広報戦略（SNS展開等）
- (13) 予定される責任者の経歴書

3 館事業との連携、協力した店舗運営の基本方針、具体的な方策

4 外国人来館者への対応、対応可能な言語の提案

5 基本収支計画（売上、集客計画及び経費内訳等）と管理手数料率

6 運営体制・運営方法（収支計画や営業時間に応じた人員配置等）

7 その他の自由提案

(4) 付帯施設運営事業者の選考

① 書類審査の実施

提出された書類について、書類審査を実施（予定）とし、応募者全員に書類審査の可否を令和7年2月12日（水）中にEメールにて通知します。なお、応募者から提出された書類については、返却いたしません。

② プレゼンテーション及び審査等

・プレゼンテーションの通知

応募者に対しては、上記①の通知と合わせてプレゼンテーション日時を通知します（1団体20分程度を予定）。現時点では、令和7年2月14日（金）を予定していますが、変更となる場合もあります。

・付帯施設運営事業者の決定及び審査結果の通知

付帯施設運営事業者の決定は、令和7年2月中旬を予定しています。審査結果は、プレゼンテーション参加者全員に文書で通知します。なお、審査の内容についての問合せには一切応じられません。

(5) 全体のスケジュール（予定）

令和6年12月 3日（火）～令和7年 1月15日（水）	募集要項周知期間
令和6年12月19日（木）まで	現地説明会参加申込提出期限
令和7年 1月 7日（火）～10日（金）内予定	現地説明会（江戸博）
	現地説明会（たてもの園）
令和7年 1月15日（水）まで	質問受付期限
令和7年 1月22日（水）まで	質問回答送付
令和7年 1月31日（金）当日必着	事業者参加届提出期限
令和7年 2月 7日（金）当日必着	応募書類提出期限
令和7年 2月12日（水）	書類審査（予定）
令和7年 2月14日（金）予定	付帯施設評価選定委員会開催 （プレゼンテーション）
令和7年 2月中旬	付帯施設運営事業者決定・通知
令和7年 3月	覚書締結・営業準備期間
令和7年 4月 1日～	契約締結・営業準備期間
本館…リニューアルオープン日以降	営業開始～
分館…令和 8年 4月 1日～	営業開始～

※ スケジュールは、予告なく変更することがありますのでご留意願います。

【問合せ・書類提出先】

東京都江戸東京博物館 管理課事業推進係（担当：関、伊東）

住所 : 〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1

東京都江戸東京博物館リニューアル準備室

電話 : 03 (3626) 9974 (代表)

F A X : 03 (3626) 8001

E-mail : kouhou@edo-tokyo-museum.or.jp